



# 新年増大号

御岩神社

## CONTENTS

- 年頭所感 ..... 2~10
- 紙上名刺交換 ..... 11~17
- 新春特集：7部会長座談会 ..... 18~21
- 新年名刺交換会 ..... 22
- 常議員会／商工会議所の動き ..... 23
- 会議所インフォメーション／ ..... 24  
国・県・市からのお知らせ
- 相談所だより／事務局職員紹介 ..... 25
- 協賛広告 ..... 26~36



発行所 ●日立商工会議所 〒317-0073 日立市幸町1-21-2 発行人 ●鈴木昇

購読料 ●200円 (購読料は会費の中に含まれています)

TEL 0294-22-0128 FAX 0294-22-0120 ホームページ <http://www.hitachicci.or.jp/>



# 「新時代で躍進」



日立商工会議所 会頭 秋山 光 伯

令和二年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

会員事業所の皆さまには、平素から日立商工会議所運営に、温かいご支援、ご協力をいただいております。とに厚くお礼申しあげます。

さて昨年は、平成から令和へと一時代が終わり、新しい時代に入った事は大きな変化でした。「戦争の無い時代」と上皇陛下は述べられました。一方、自由な競争原理のもと、グローバルゼーションが大きく進化する時代となりました。スポーツ界でも、メジャー選手の手が現役を引退し、1つの時代に終わりを告げたこと

は、記憶に新しいところで、す。スポーツといえば、ラグビーワールドカップが開催され「ワンチーム」という言葉が生まれました。チームには外国人選手が多く、様々な言語や文化が集まる選手、スタッフが1つになっ

て戦い抜くことは、これからの日本を象徴しているかのように感じました。自然界では、台風15号、19号に加え、九州豪雨などの自然災害が猛威をふるい、当然該地域の皆様には、記録的短時間大雨情報が発令されるなど、不安な日々を過ごしたことを思いますと、心

が痛みます。多くの被害と尊い命が犠牲となった被災地域の皆様には、一刻も早い復旧がなされますことを切に願っております。

このような自然環境の変化も含め、令和への移り変わりと共に、新しい時代に入ったと改めて感じられた



年であり、それらへの対応を再認識しなければならぬと考えているところです。

世界経済では、香港での大規模デモの長期化が危惧され、社会経済に大きな影響を与えているほかに、米国のパリ協定の離脱表明から、益々自国第一主義政策が表面化し、米中貿易摩擦の深刻化にも拍車をかけ、株価の変動を助長し、世界経済の不確実性を高めており、これらの影響は即刻私たち日本へも波及するものとしての心構えが大事だと思います。

国内経済情勢においては、急速なデジタル化の進展や巨大IT企業の台頭など、世界経済を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、自国ではなかなか世界を変えようとする技術革新が生まれず、成長が課題となっています。また、先に述べま

したように、世界主要国の不安要因もあり、海外経済の低迷が輸出減少を招き、企業の設備投資意欲を削ぎ、景況感が低下していますが、個人消費に関して消費増税後は、キャッシュレス還元

制度や東京オリンピックの開幕する年ということもあり、持ち直しが期待されます。需要と供給のバランスを維持するためには、我が国の経済を下支えする358万社の中小規模企業の持続的発展は、必要不可欠であり、そこには、IoT、AIなどの先進技術活用、労働力の確保と労働環境の改善支援、創業・承継支援など商工会議所の担うべき役割はますます高度となり、必要性が高まりを見せています。

当地域に目を転じますと、生産人口の減少、大企業の組織改編などから、今後の

地域活性化を進めていくうえで、「まちの元気」が損なわれるのではないかと心配する向きもあるようですが、当地域にあるすべての産業分野で潜在する「ものづくりの精神と力」を発揮できれば

必ずや克服できると考えており、まさに、私達が原動力となつて、まちの元気が維持できると確信しております。当市は、気候が温暖、教育文化施設の充実、安心安全な街、コミュニティ活動の成熟化など、住む人の利便性、快適性は格段に優れており、そのポテンシャルは、県下随一と確信しているところです。

このような環境下において、商工会議所といたしましては、中小企業の課題となつております「労働力の確保」「生産性の向上」「事業承継と創業支援」「消費増税に伴う軽減税率導入と対策」

を柱として、関係機関とともに会員事業所をサポートしてまいりました。今後におきましても、地域の成長力を底上げする取り組みとして継続的に実施してまいります。

商業・サービス業においては、地域内での購買力を底上げするための支援事業や、事業者の販売力を促進するための販路開拓支援・増税対策という基本的な事業のほか、スマートホンなどを活用した、キャッシュレス化への対応について研鑽を深めてまいります。

ものづくり関連では、製品や部品に特化した事業形態から脱皮するために、先進技術を駆使し、ものづくりから販売、サービスまで業種を問わない産業の創出など、イノベーションに向けたチャレンジを支援してまいります。

観光振興関連では、日立市・日立市観光物産協会と連携し、当市の保有財産である「さくら」「海」「産業・夜景遺産」をフルに活用し、域外からの集客を図り、日立市の豊富な魅力を伝えたいと思います。

会員事業所の皆様には、地域の変化が顕著に進む中、新しい時代で躍進するため、の心構えを共にもち、一丸となって持続可能な未来を実現するため、ともに手を携えて邁進して参りたいと存じます。

結びといたしまして、会員並びに関係の皆様へ、ますますのご健勝と躍進する1年となりますことをご祈念し、年頭のご挨拶といたします。





日本商工会議所会頭 三村明夫

明けましておめでとうございませう。

2020年の新春を迎え、

謹んでお喜び申しあげます。

私は、昨年11月の臨時会  
員総会において、各地商工  
会議所の皆様のご推挙を  
得て日本商工会議所会頭  
に再任され、日商會頭とし  
て3期目の新年を迎える  
こととなりました。各地の  
皆様におかれましては新  
体制の下、清々しく新年を  
お迎えになられたことと  
存じます。

さて、昨年は国内外とも

に実に多くの動きがあり  
ました。

わが国では30年ぶりの  
御代替わりを経て「令和」  
時代の幕が開き、大変な盛  
り上がりを見せたラグビ  
ーワールドカップ、5年ぶ  
りの消費税率引き上げ等、  
重要な出来事が相次ぎま  
した。一方で、台風等の自  
然災害による被害も広範  
囲かつ甚大なものとなり、

いまだ影響の残る被災地  
の皆様には、改めて心から  
お見舞いを申しあげたい  
と思います。

世界では、長期化する米  
中対立、不安定な中東情勢、  
ブレグジット問題、香港問  
題、日韓関係の悪化等、数々  
の混乱が生じ、その出口を  
模索し続けた1年であり  
ました。

わが国の経済情勢に目  
を転じれば、個人消費には  
いまだ力強さを欠くもの  
の、米中摩擦等の影響もこ  
れまでのところ限定的で  
あり、民間投資は引き続き  
底堅く、日本経済は潜在成  
長率並みの1%程度の緩  
やかな拡大を続けていま

す。本年は、いよいよ東京  
オリンピック・パラリンピ  
ックが開催されますが、東  
京および全国各地の魅力  
とともに、東日本大震災等  
から復興した日本の姿を、  
全世界にアピールできる  
絶好の機会であり、ぜひと  
もこのビッグイベントに  
よる効果を全国津々浦々  
に波及させ、日本全体が元  
気になれる1年になるこ  
とを切に願っております。

一方、わが国経済は多く  
の課題も抱えております。  
人口減少や高齢化等の日  
本社会の構造変化を背景  
に、年々深刻化する人手不  
足、経営者の高齢化等によ  
る廃業の増加、地方の疲弊

等が、日本経済のさらなる  
成長の足かせになってお  
ります。これら日本の抱え  
る構造的課題は、立場の弱  
い中小企業の経営課題と  
して最も早く顕在化して  
きており、大企業との利益  
率格差は年々拡大し、また  
賃金も毎年上昇する中で、  
労働分配率は大企業の40  
%台に対し、中小企業では  
70%台に達しています。従  
って、生産性の向上や取引  
価格の適正化等を通じた  
付加価値の向上なくして、  
中小企業はこれからの時  
代を生き抜くことはでき  
ません。

こうした危機感の下、私  
は昨年11月、会頭再任時の

所信において「中小企業の強化を通じて日本の成長する力を育てる」「地域の活性化」を活動の二本柱とする今期の取り組みを表明いたしました。

中小企業はわが国経済の基盤であります。日本全体の雇用の約7割、付加価値の約5割を生み出している中小企業の強化なくして、わが国の持続的な経済成長はあり得ません。所信では、①ひっ迫する人手不足とデジタル社会の到来にあつて、いまだ「発火点」に達していない中小企業への「IT導入」と「デジタル技術の実装化」を急ぎ、生産性向上と付加価値向上を同時に実現すること、②来る「大企業承継時代」を変革と創造の好機と捉え、「事業承継の加速化」で価値ある事業と技術を次世代へ承継し、「起業・創業の活性化」でビジネス全体

の新陳代謝を促すこと、③取引価格の適正化とともに、中小企業の生産性向上を大企業が積極的に支援する「大企業と中小企業の新しい共存共栄関係の構築」により、サプライチェーン全体をより強固なものにしていくこと、をわが国経済全体の発展・強化のための最重要の取り組みとして掲げています。

また、「地域の活性化」では、各地域がその魅力を活かし、他地域とも連携して所得向上に取り組みねばなりません。地域横断での広域連携を軸とした「観光振興」と「農商工連携」をさらに推し進め、地域の独自資源を最大限に活用して、インバウンドも含めた域外需要を取り込んでいく必要があります。また、観光振興や地方創生の取り組みを支え、これを加速化するストック効果の高い

社会資本整備や、近年頻発する大規模自然災害に耐え得る国土強靱化についても、引き続き政府に対して積極的な働き掛けを行ってまいります。

これらの目標を実現させる上で、われわれ商工会議所は本年も「現場主義」と「双方向主義」をさらに徹底し、現場の声を、各種の規制・制度改革、持続可能な全世代型社会保障制度の構築、中小企業対策等を実現する政策提言に活かしてまいりたいと思えます。商工会議所の強みは、全国515商工会議所、124万会員のネットワークを通じて、具体的・個別的な課題をはつきりと認識していることです。その強みを活かし、それぞれの地域が必要とされ、選ばれた組織であり続けるためには、地域の多様な主体と連携協働を図りつつ、商工

会議所自身も、時代の要請に合った進化と変革を遂げていかねばなりません。折しも、商工会議所の創始者である渋沢栄一翁が、2021年のNHK大河ドラマの主人公や、新1万円札の顔となることが決定しました。「企業は利益を上げなければならぬ」と同時に、公益についても考えなければならぬ。両者は高い次元で両立する」という渋沢翁の理念は、商工会議所の活動理念そのものであり、現代においてもこそ広める価値があるものと考えます。この機に渋沢翁の理念を改めて共有し、大企業と中小企業、都市と地方が共に輝き、日本経済の持続的成長をさらに後押しできるように、本年も皆様と共に全力を尽くして取り組む所存であります。

### 今年の子年



『漢書』律曆志によると「子」は孳(し・「ふえる」の意味)で、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める状態を表していると考えられます。

後に、覚え易くするために動物の鼠が割り当てられました。俗説では、次のような話が伝わっています。神が十二支の動物を決める際、家の門の前に来た順番に決めることにしました。牛は動きが遅いからと真っ先に出かけ、一番に門の前につきました。しかし、門が開けられる時、牛の頭の上に乗っていた鼠が牛の前に飛び出したので、鼠が一番になったと言われています。なお、猫も十二支に入れてもらおうと準備をしていましたが、鼠が集合の日をわざと間違えて教えたので十二支に入ることができなかつたようです。それでも猫は鼠を追いかけ回すのだそうです。







# 年頭所感



## 「ふるさと日立」を次世代へ

### 日立市長 小川 春樹

明けましておめでとうございませす。

2020年の新春と皆様とともに

迎えることができませしたことを、

心からお喜び申し上げませす。

秋山会頭をはじめ会員の皆様には、日頃から本市のまちづくりを温かく力強いご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年、日立市は市制施行80周年という記念すべき節目を迎えませした。また、45年ぶりの茨城国体が開かれ、日立市では、体操・新体操、卓球、バスケットボール、軟

式野球、そして本市発祥のパンボンが盛況に開催されるところにも、大会期間中には天皇皇后両陛下がご来訪され、多くの市民の皆様が奉迎、奉送に駆けつけられませしたことは、まさに日立市における輝かしい歴史の一頁となりませした。

また、日立市新庁舎がグランドオープンを迎え、私たちBRTの大甕駅―常陸多賀駅間の本格運行を開始するとともに、鳩が丘さくら福祉センターやHi-Taxiチランドハレニコ!の供用を開始するなど、市政の重要事業を着実に推進することができませした。さらには、7年に一度の神峰神社大祭礼が開かれ、ユネスコ無形文化遺産である日立風流物4基が一堂に会するとともに、第90回都市対抗野球大会では、日立市代表・日立製作所が第3位に輝くという大変喜ばしい出来事もありませした。そして「さくらのまち・日立市」の原点を描いた映画「ある町の高い煙突」が全国公開され、本市のかけがえのない歴史が広く

発信されませしたことは、市制施行80周年の喜びに華を添えていただけれる出来事でありませした。

本年も、80年という長き歩みの中で築き上げられてきた本市独自の歴史や文化、そして地域の魅力である「ひたちらしき」を更に磨き、「ふるさと日立」を誇りをもつて次世代へ引き継げるよう、子どもたちには「夢」を、若者には「輝き」を、働く世代の皆様には「充実感」を、そしてシニア・シルバードの皆様には「生きがい」を、常に持ち続けていただけれるような施策を力強く推進してまいりませす。また、昨年は台風による被害が色濃く記憶に刻まれた年でもありませす。

結びに、日立商工会議所のますますのご発展と、本年が会員の皆様にとりまして、ご家族共々、実り多き一年となりませすことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただけませす。



年頭所感



# 事業所発展に効果的な支援業務を

日立市十王商工会 会長 和田 芳信

令和二年の新春を迎え、  
謹んでお慶び申し上げます。

日立商工会議所会員事業所の皆様におかれましても健やかに新春をお迎えのことと思います。

平素より日立商工会議所の皆様には、商工会運営全般にあたり、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新春にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。昨年度は台風19号の影響で甚大な被害を受けた方がたがたくさんいらっしゃると思いますが、心より見舞い申し上げます。

早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、我が国の景気は緩やかな回復基調であると言われている。

しかしその一方、小規模事業者を取巻く現状は、経営者の高齢化、後継者不足等による中小企業数の減少と低い開業率といった様々な課題があります。又、十月より施行になった消費税増税並びに軽減税率制度の影響もあり、事務負担の増加や、今後の購買意欲の低

下による売上減少の影響が出るのではないかと不安があり、景気回復を実感することができない現状が続いていくのではないかと思われます。

このような中、商工会では会員事業所の皆様の力になれるような支援体制をより拡充・強固なものにすることができるよう、伴走型支援業務に努めていき、課題やニーズに対応した支援や相談等を徹底して行いそこから得た経営問題等を把握して、経営計画の策定等に生かし効果的支援を迅速に対応していきたいと思っております。

目的とする経営発達支援事業が昨年認定を受けることができ、個社の経営相談や実行支援をするため、経営支援に関することやマーケティング調査、事業者の経営診断を実施し、結果をもとに支援内容の提案等に努めていきたいと思っております。このことを踏まえ、

会員の方々の課題解決に取り組んでいき、満足してもらえりような支援業務を行っていきけるように本年度の日々の業務に取り組んで参ります。

様にとって本年が良い年になりますようご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

今後も日立商工会議所の皆様との連携を密にしながら効果的な支援を行っていききたいと思っております。最後になりましたが、皆

# 2020 副会頭年頭所感



副会頭 小峰 保信



新年あけましておめでとうございます。会員事業所の皆様には謹んで新年のお喜びを申し上げます。当所事業運営につきましては、平素よりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、昨年11月の臨時議員総会において、2期目の日立商工会議所副会頭を仰せつかりました。前期同様よろしくお願い致します。

さて、昨年わが国では、御代替わりを経て「令和」時代の幕が開き、大変な盛り上がりを見せたラグビーワールドカップ、消費税率引き上げ等の出来事が相次ぎました。

経済では、海外経済の減速に伴う輸出低迷や大型台風などの影響により景気に足踏み感がみられましたが、消費増税を乗り越え緩やか

な回復が持続しました。しかし、我々中小企業を取り巻く環境は、先行き不透明な状況が続いております。

製造業界ではIoTの進展などにより、これまでのものづくりから変革の時を迎えようとしております。

このような状況の中において、今自社でできること、技術を磨き、販路開拓に努めることで対応力の強化に繋がり、企業力を伸ばすことが出来ると思われま

す。そして、商工会議所が支援できる事は何か、再認識をしながら協力してまいりたいと思っておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

会員の皆様には、より良き年でありませう、ご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



副会頭 郡 司 洋子



新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃からご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新天皇陛下が御即位されました、祝賀ムードに包まれた1年となりました。また、9月に開催されましたいきいき茨城ゆめ国体では、卓球競技を御覧に池の川さくらアリーナに御越しになられ、当日は多くの市民が沿道を埋め尽くし、日立市内が盛り上がった1日になりました。

今年は何んといっても東京オリンピックですね。7月後半から東京を中心に開催され、茨城県内でもカシマスタジアムでサッカー競技が開催されます。皆様、

観戦チケットは当たりましたか？私は今のところチケットはありませんが、観戦する機会があれば是非見てみたいと思っております。また、事前合宿を日立市内で行う国もあるという新聞記事もありますので、一流の選手を間近で見られる良い機会となりますね。

オリンピックを観戦に来る世界各国の方々が、日立市にも来られる可能性があります。すると躊躇してしまいますが、一歩踏みだしておもてなしをすることが、今後の日立市の活性化に繋がると思いますので、これからも会員の皆様のお知恵やご支援をいただきながら、人と人をつなぐ橋渡し役となれるよう努めてまいりたいと思っております。

皆様にとって、実り多い1年でありませうご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



副会頭 武田 太志



新年あけましておめでとうございます。商工会議所会

員事業所の皆様には、謹んで新年のお慶びを申しあげます。

昨年一年は、新天皇の御即位や、いきいき茨城ゆめ国体の成功など新元号「令和」になって、新しいことが続き、茨城県ばかりでなく日本全体が祝賀ムードに包まれましたが、夏以降の異常気象や度重なる大型台風の影響で、大きな被害が出るなど災いも多い年でした。また10月より消費税が10%となり、持ち帰りの食品とそれ以外で課税が分かれるなど、運用について混乱が生じ、対応に苦慮した事業所も多かったようです。商工会議所では、経産省の消費税還元事業の周知やキャッシュレス化のメリックについて説明会など催し

て参りましたが、完全に理解を得るにはまだ道半ばであろうと思っております。また、日立市など地方においては、消費増税後の買い控えなど消費の落ち込みの兆しも見えてきているので、この辺の対策をどうするか考えていきたいと思っております。

新年の抱負としましては、まずは在任2期目となる副会頭として、秋山会頭をサポートしていくことと、茨城県北地域の中心都市として、人的資源や観光資源など潜在的価値が豊富にある日立市を様々な方法で全国にアピールしたいと思っております。日立商工会議所には、会員になっていただいた若いメンバーが、徐々に増えていることから、「どうしたら自企業や地域を、個性的で魅力ある存在にしていけるか」に焦点を当て、そこにビジネスチャンスを見いだせるよう、SNS(インスタグラム、YouTube、フェイスブック)などの講習会や勉強会に今年も取り

組んでいきたいと考えております。

また、組合や商店街などが弱くなり、会員企業同士の関連性が以前より希薄になってきていることから、何か継続して一体感を感じられる事業が出来ないかを日立市などと協議しながら模索してまいりたいと思っております。

最後になりましたが、令和2年が会員事業所の皆様にとって良い年となりますようご祈念申しあげ、年頭のあいさつとさせていただきます。

副会頭 小泉 裕樹



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素から、日立商工会議所へのご支援、ご協

力を賜りまして、厚く御礼申しあげます。

私は、昨年11月に副会頭に任命されました。微力ではございますが、会員の皆様にお役に立てますよう、頑張っていきたいと存じますので、今後ともよろしくお願ひ申しあげます。

さて、昨年は、わが国におきましては、「平成」から「令和」へと新たな元号へ変わる等、大きな動きのあった年でありました。経済の面では、消費税増税等もあり、会員の皆様におかれましては、様々な課題をかかえながら、依然として、先が読めない状況が続いているのが、現状ではないかと思われます。

また、昨年は、台風等の自然災害の被害も広範囲かつ甚大なものとなりました。被害にあわれました方々には、この場をお借りいたしまして、お見舞い申し上げます。

今年は、明るい話題としては、東京オリンピックが

パラリンピックが開催されますが、当市におきましても、経済効果等、良い影響が出ることを願うばかりです。

私の所属している観光環境衛生部会としましては、昨年、ドリンクラリーをはじめとして、地域の賑わい創出事業を実施しておりますが、今後も、継続的な事業をはじめ、地域及び業界等の活性化につながる事業を、実施いたしたいと考えております。

日立商工会議所としましては、引き続き、会員の皆様が必要とされる日立商工会議所として、お役に立てればと考えております。

結びに、会員の皆様にとって、今年1年が、より良き年でありますように、ご祈念申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。





日立商工会議所女性会

会長 名倉敏子



謹んで新春のお喜びを申しあげます。

本年が会員の皆様にとりまして幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申しあげます。

当女性会は、研修会や講習会などを随時開催し、経

ます。これまで様々な方と親交を深める中で、貴重なご意見やご提案をいただきありがとうございます。今後は時流に沿ったテーマによる新しい事業にも積極的に取り組んで参りたいと考えております。本年もどうぞ当女性会への協力とご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

営者としての資質向上や研鑽に努めるとともに、「一人一品持寄り運動」などの社会福祉活動、納涼会、新年会などの交流を通し、会員相互の親睦を深めるなど様々な事業を展開しております。さて今年、東京オリ

ピックの年として、日本中が盛り上がりつつくる年でもあり、その開催を契機に観光振興などを通じて、地域の活性化につながることを予想されます。当女性会もこの潮流にのり、更なる活動を進めて参りたいと思



日立商工会議所青年部

会長 吉成俊昭



会員の皆様には心より新春のお慶び申しあげます。

日頃より、青年部活動に對しまして、格別なご支援ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

昨年は、会長として会議・事業に参加させていただき、部員一人一人の考えや思い

を共有できた貴重で充実した年となりました。この経験を諸先輩方から引き継いだ伝統とともに部員へ傳承し、青年部活動の活性化につなげていくことが今後の責務だと思っております。本年度も残り僅かとなりましたが、3月には「就活

フェス in ひたち2020」第8回常陸ノ国グルメフェス」と大変重要な事業を予定しています。両事業とも大過なく、そしてより参加者・地域の皆様に有意義な事業となるよう、部員一丸となつて取り組んでまいりたいと思

歳時記

カルタ

正月のカルタ遊びは、日本の伝統的な室内遊戯の一つですが、歌留多・骨牌などと書かれる「カルタ」という言葉は、もともと紙札を意味するポルトガル語からきた外来語です。

外国由来の「南蛮カルタ」のうち、現存する最古のものは天正年間(一五七三〜九一年)にできた「天正カルタ」。平安時代以来の「貝合わせ」は二枚の殻を分けて散らし、もとの貝を合わせて取る遊びでしたが、その貝が南蛮カルタの影響で紙片に変わり、百人一首などの「歌カルタ」が生まれました。

紙片を意味する英語「カード」や、医師の診察記録をさすドイツ語「カルテ」も、語源はカルタと同じです。

日本人が「トランプ」と呼ぶものも、英語では「カード」。トランプはその中で一番強い「切り札」のことです。明治初年に来日した外国人が、ゲームをしながら「トランプ」と叫ぶのを聞いて、カードの総称と誤認したものとされています。

カルタやトランプを楽しむながら、その歴史に思いを寄せるのも興でしよう。

